

【武蔵野 創業50周年 感謝の集い】

日本経済新聞(12月8日付 埼玉・首都圏経済面)・日本食糧新聞(12月13日付)において12月7日の武蔵野 創業50周年感謝の集いに関する記事が掲載されました。

安田会長、安田社長のご挨拶概要と共にご来賓のセブン-イレブン・ジャパン古屋社長およびセブン&アイ・ホールディングス鈴木名誉顧問からのご挨拶も一部紹介されています。

衆議院議員 石破茂先生にも記念講演をしていただき多くのご来賓をお迎えして社内参加者を含め300名以上の盛大な会となりました。

武蔵野は、東京都港区の明治記念館で「武蔵野創業50周年感謝の集い」を開催し、50年の感謝とともに「至誠」を持ってまい進することを宣言した。

記念講演として石破茂衆議院議員が「時局講演」を行い、「人口が減るといことは静かな国家の有事である。解決は地方創生しかない」と持論を展開し、日本の消費拡大、健康な食糧の維持を目的に安田定明会長が日本へふるまひ振興協会長時代に、同協会を村国法人化した意義についても触れた。

祝賀では冒頭、安田定明武蔵野ホールディングス会長が「970



明治記念館で創業50周年行事 武蔵野 治記念館(東京・港)

セブン-イレブン・ジャパンで「創業50周年感謝の集い」を開催した。セブン&アイ・ホールディングスの鈴木敏文名誉顧問やセブン-イレブン・ジャパンの古屋一樹社長ら来賓220人と、武蔵野グループの社員80人が参加した。

武蔵野ホールディングスの安田定明会長は「食と癒やしを人間に欠かせないものとして捉えている。2つを車の両輪として会社を発展させていきたい。今日から創業100周年をめざして歩み始める」とあいさつした。自民党の石破茂元幹事長による記念講演会も開いた。

同グループはセブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド(PB)の食パン「セブンゴールド」金の食パンを開発。コンビニ向けおにぎりの定番具材「ツナマヨ」を生み出したことでも知られている。

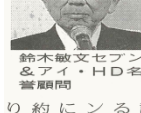
武蔵野50周年 「弁当」商品化が起点

年に山崎パン杉並工場からいひを受注し炊飯事業を参入、弁当の言葉と「至誠」を掲げたことが企業の志を持って堂々と事業の弾みになった。以来、進んで行ってきた。軒余ら、進んで披露した。

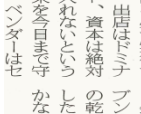
「至誠」で100年企業目指す

「至誠」で100年企業目指す

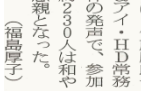
「至誠」で100年企業目指す



安田定明会長



安田信行社長



鈴木敏文セブン&アイ名誉顧問

「至誠」で100年企業目指す

「至誠」で100年企業目指す

「至誠」で100年企業目指す

